

公益財団法人ほくりくみらい基金
 「サントリー能登復興みらい基金助成プログラム」採択事業一覧

事業名	宿泊自然体験のための共同施設づくり事業
団体名	農事組合法人能登ふれあいガーデン
活動地域	能登町
事業概要	長年、能登町で能登の里山の豊かさを伝えてきた自然体験施設である「ケロンの小さな村」に、共同で利用できる炊事場や洗濯場、トイレを整備することで、現在整備を進めている宿泊機能を強化する。
助成額	1,000,000円
審査員講評	子どもたちや親子をはじめ、幅広い年代の方々が集える場として再生されることで、この場所が地域の新たな希望となることを期待しています。都市部にはない能登の自然の豊かさに触れられる自然体験の拠点として、教育的・文化的な価値を持つ場へと育っていく可能性を強く感じました。地域住民にとっても外から訪れる人にとっても大切な場所として、今後も発展・継続されていくことを楽しみにしております。

事業名	震災に耐えた130年の鵜川の蔵宿の再生
団体名	LOCALIGHT株式会社
活動地域	能登町
事業概要	宇河の海瀬神社近くにある古民家を改装した宿泊施設「鵜川ハーバービュー」の蔵を修理・補強し、輪島塗の展示、宿泊、能登の文化体験プログラム（よばれ体験、料理教室など）を開催できる施設として整備する。
助成額	1,000,000円
審査員講評	130年の歴史を持つ蔵の再建が、復興のシンボルとなるとともに、地域の方々の誇りとなる点を高く評価しました。宿泊機能を維持し、輪島の伝統工芸・文化を感じられる観光資源として活用されるだけでなく、地域住民にとっても身近で多目的に利用できる場として、広く親しまれることを期待しています。

事業名	地震・豪雨で破壊されたコミュニティと環境の再生拠点「まちの森」の整備
団体名	もとやスーパー（有限会社もとや庄治商店）
活動地域	輪島市
事業概要	「まちの森」整備事業として、下記の事業を行う。 1. 植樹による森林の整備 ○水害防備林：スーパーの川側である北西面の外構に水害防備林を計画し、河川氾濫時の減災力を強化 ○復興のシンボルツリー：桜・紅葉・果樹などを混植し、地域住民やボランティア、訪問客が四季を楽しめる復興感醸成の拠点へ ○地域の子どもたちを交えて苗木の樹種を選定。公費解体のスケジュールと合わせ苗木の購入・仮設置などの準備期間を経て、2026年1月には住民や支援者とともに植樹式を企画・実行 2. 能登ヒバによるガーデンファニチャー製作 ○公費解体される憩いの場の代わりとなる屋外スペース、スーパーのイートインスペースとして展開 ○県木指定され屋外環境にも強い能登ヒバを採用し、住民や支援者とともにベンチ・テーブルなどを製作 ○南志見や真浦地区などの近隣事業者と連携して仕入れやDIYワークショップを展開し、愛され続ける場所へ
助成額	994,000円
審査員講評	二重災害に遭いながらも続けてこられたこれまでの支援の実績・功績に敬意を表するとともに、コモンズとしての場をつくることで、人々の交流と売り上げを両立するアイデアを高く評価しました。地域内外からの期待を背負いすぎることなく、自由な発想で活動をしていただきたいと思います。

事業名	能登の伝統工芸などを展示する古民家蔵のギャラリー再建
団体名	珠洲織陶苑 典座・珠洲焼伏見窯
活動地域	珠洲市
事業概要	180年前に建てられた宝蔵を改装してつくられたギャラリー、【珠洲織陶苑ギャラリー「松の樹」】の壁の修復作業を行う。 ギャラリーを再建し、珠洲焼や輪島塗という伝統工芸、江戸時代からそのままでの古民家や蔵などの地域文化発信の拠点となることを目指す。
助成額	999,740円
審査員講評	江戸時代から続く古民家と伝統工芸の両方に触れられる場の再興は、地域文化の継承と発信の観点から極めて重要であると評価します。能登の作家による美術・工芸に触れる拠点としての機能に加え、これまで取り組まれてきたように、工芸と地元食材を活かした料理の提供や、地域の農業・漁業と

	の連携といった多角的な展開にも期待しています。
--	-------------------------

事業名	能登の里山・ガーデンセラピープロジェクト
団体名	のがし研究所
活動地域	輪島市
事業概要	「あまくてかわいい菓子」を入りに里山の新たな価値を見出し、過疎高齢化や里山の荒廃などの課題解決を試みてきた【のがし研究所】の整備をDIYで行い、既存のcafe +「植物で健やかになれる」場づくりを行う。
助成額	1,000,000円
審査員講評	地域資源を活用したワークショップやツアーなどを通じた能登の里山の価値を発信する拠点として、地域にとって欠かせない存在であると評価しました。拠点整備に際しては、集落の農家の方々にも作業を依頼されるなど、地域とともに場をつくる姿勢がうかがえます。今後も地域の皆さんと連携しながら、さらなる発展につながることを期待しています。

以上